

問 都市計画道路と区画整理事業を問う

答 都市計画を進めるには区画の推進

宍粟政友会代表 千原 生造 議員

**問** 白谷市長は過去に、「30年かけても区画整理事業は推進していく」と申され、中井・段地区の区画整理に取り組みましたが、地元の同意が得られず今日に至っている。

一方、区画整理事業と同時に計画されたのが、加生・門前を通り抜け、段・中井地区の区画整理道路に結びつける都市計画道路であり、数十年たつたが、一步の前進も無く、また、その



区画整理事業計画のある段・中井地区

間、地権者や地元にも一度の説  
明も連絡もなのまま放置され今  
日に至っている。市の長として  
の責任をどう果たされるか。

**市長** 都市計画区域の区画整理事業については、

行政の責任としてきちつと責任をもつて完遂をするという責任がある。山崎町長時代から積極的に取組んできたつもりであります。船元地区から通学路の段ボックスまでの間は、土地区画整理区域内にありますことから、土地区画整理事業で整備をし、段ボックスから木谷橋までは街路事業とし、整備することとなっている。

**問** 今の状況を地元は納得されない。これだけ国県が財源不足で地方の補助を切り捨てる状況で、この都市計画道路が進められるだろうか。地元は不安に思っている。今後の計画を明確に示してほしい。

**市長** 城下山田地区区画整理事業102haの都市計画決定以降、ジャスコ敷地4.3haを

実施したのみで進捗率は4.2%と進んでいない状況で地権者の皆様方には多大な心労をおかけ致しております。これまで、数百回の説明会を行いまして、該当地区については、事業の推進を計ってきたところでございますが、今後も減歩率とか換地等々、地権者の皆様方のご理解が頂けるよう、更に努めてまいりたい。今、中井地区におきましては、24haのうち13haを先行させた。こういう形で地域の中で協議を進めて頂いている。当然、中井地区の中で、この計画道路とも関連している状況で、是非、100%に近い同意をもって道路推進が計れるように努力したい。特に、長い間の経過状況説明等々が不十分であったことは反省しています。都市計画につきましては、将来の目指すべき都市像の実現に向けて総合的・立体的に進めていく必要があると考えている。